



みんなで つながりの種まき2025 多文化共生の地域づくり

開催日 令和8年2月27日
会場 中区役所7階会議室



参加者みんなで書いた
「明日から出来る地域での一歩」

多文化共生の地域づくりを考える講座を開催し、若者の視点や居場所づくりについて、理解を深めました。

講座では、国際交流ラウンジ林錦園氏が、外国につながる若者の地域参加や「にじいる探険隊」の活動を紹介。

**地域力推進担当と“つながりづくり”
今年度も一緒に!!**

今号では「つながりの種まき講座2025」の開催報告と、今月から募集が始まる「みんながつながる地域づくり補助金」「中区アドバイザー等派遣事業」をご紹介します。活動の次の一歩に、ぜひお役立てください。

日本語や制度に不慣れな家庭が孤立しやすい現状や、林氏が来日時に偏見を受けた経験も共有されました。

当日は、埋地地区の藤平会長も登壇、多文化共生に向けた地域の取り組みや課題について意見交換されました。

子どもがつなぐ地域の輪

～埋地地区の自然な多文化共生～

埋地地区が目指す地域づくり

埋地地区では、多言語チラシや子ども向けイベントをきっかけに、外国にルーツのある住民が地域活動に参加しやすい環境づくりを進めています。誰もが自然に関われる地域を目指した取組です。

子どもがつなぐ地域の輪

餅つきや防災訓練などを通して、国籍に関係なく声を掛け合える関係が生まれています。子どもが学んだ防災知識を家族に伝えるなど、子どもを起点に地域とのつながりが広がっています。

小さな工夫が大きな安心感に

言葉の不安や参加への迷い、生活リズムの違いなど、参加のハードルはさまざまです。多言語表示や横書き案内などの小さな工夫が、大きな安心感につながり、交流を後押ししています。

中区の外国籍住民の割合は18区中1位です



林錦園氏

ラウンジとの出会いで、同じ境遇の若者を支え後輩を励ますなかで、自身の経験に価値を見出すようになりました。

地域活動への参加が、若者にとって「自分はここにいていい」という肯定感を育てるきっかけに。

外国籍住民との接点づくりが急務だと感じ、まずは子どもをきっかけに親が地域へ参加するルートづくりに着目しました。子ども向けの催しを増やすことで親の参加を促し、自然と顔を合わせる機会を増やしました。



藤平保之会長

終盤で参加者間で多文化共生に向けた思いが共有され、「防災・防犯・子育て・地域の賑わいづくり」は国籍に関係なく大切だと再確認されました。

地域振興課からのお知らせ

アドバイザー等派遣事業

地域の課題解決や魅力づくりにつながる講座や勉強会に、講師やアドバイザーを派遣する事業です。テーマの検討から講師の選定まで、地域振興課と一緒に考えサポートします。今年度は街の先生×スマホサポーターのデジタル活用講座をお勧めしています。

みんながつながる地域づくり補助金

自治会町内会、連合町内会等、地域の団体が中心となる事業に補助金を交付します

初年度は
上限10万円
(9割以内)

締切は
5月29日

地域の課題解決で
多世代が参加できること



真剣に講義に聞き入る50名ほどの参加者